

ご好評につき、第2弾!!

オフィス用回転椅子 -安定性、強度及び耐久性の試験方法-



ボーケンでは、「JIS S 1206 オフィス用回転椅子」の試験を実施しております。
 前回のボーケントピックNo.203(オフィス用回転椅子「肘掛けの耐久性試験」、「前方安定性」)が
 ご好評につき、第2弾を発行させていただきました。
 今回は、「肘掛けの中心垂直力静荷重試験」、「肘掛けの前部垂直力静荷重試験」、
 「肘掛けの側方静荷重試験」を紹介します。

再発見！試験機 JIS S 1206

肘掛けの
中心垂直力静荷重試験



試験方法

肘掛けの中心点に、局所の当て板(直径100mm)で垂直に荷重を加える。荷重点は、肘掛け長さの中心点で、当て板を幅の中心に置き、力(※1)を両方の肘掛けに同時に加える。余分な力が加わらないように、ゆっくりと加え10秒~15秒、5回繰り返す。

※1 附属書A: 垂直力900N
附属書JA: 垂直力750N

肘掛けの
前部垂直力静荷重試験



試験方法

肘掛けの前部に、局所の当て板(直径100mm)で垂直に荷重を加える。荷重点は、肘掛け長さの中心線上で、前縁から75mm手前とする。力を肘掛けの中心垂直荷静荷重試験の50%(※2)とし、両方の肘掛けに同時に加える。余分な力が加わらないように、ゆっくりと加え10秒~15秒、5回繰り返す。

※2 附属書A: 水平力450N
附属書JA: 水平力375N

肘掛けの
側方静荷重試験



試験方法

横向き(外向き)の水平力を両方の肘掛けに400Nの力を同時に加える。力は、肘掛けの縁の、前縁又は後縁から75mm以上離れた、破損の可能性が最も高い位置に加える。余分な力が加わらないように、ゆっくりと加え10秒~15秒、10回繰り返す。



☆ボーケンで実施可能なJIS S 1206の試験

※一部のみ実施

前縁安定性	肘掛けのない椅子の側方安定性	背もたれ傾斜機能付き椅子の後方安定性	肘掛けの中心垂直力静荷重試験	足掛けの静荷重試験	足掛けの耐久性試験
前方安定性	肘掛け付き椅子の側方安定性	座面前縁の静荷重試験	肘掛けの前部垂直力静荷重試験	座面及び背もたれの耐久性試験※	キャスター及び椅子の脚羽根の耐久性試験
足掛け付き椅子の前方安定性	背もたれ傾斜機能のない椅子の後方安定性	座面及び背もたれの複合静荷重試験	肘掛けの側方静荷重試験	肘掛けの耐久性試験	(全17項目)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京生活用品試験センター | TEL:03-5669-1382 / FAX:03-5669-1387
 大阪生活用品試験センター | TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

ご依頼
お待ちしております。

